

2024 年度予算 主な子ども施策に関する事業

地方創生事業

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.13 事業名	U I ターン推進事業 (若者施策)	2024 年度 予算額	3,300 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 若者の交流を促進し、定住率の向上を図る。

1 事業内容

若者の居場所づくり事業を実施する。

- (1) 外部専門家（地域再生マネージャー）の活用
外部専門家（地域再生マネージャー）を招聘し、若者施策についてアドバイスを受ける。また、下記(2)(3)のコーディネートを行う。
- (2) 若者の居場所づくり（ワークショップ・拠点整備）
若者ワークショップを開催し、市内に多様な居場所をつくるための具体的なアイデアを出し、具現化していく。
既に実施した若者会議での意見から、駅近くの空き物件を一つの居場所として改修し、拠点とすることを想定しながら居場所づくりを進めていく。
- (3) 若者交流イベントの開催
市内企業に就労している若者を対象とした交流イベントを年2回程度実施する。



豊岡若者会議 2023 の様子

2 事業期間

2021 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,300 千円（（一社）地域総合整備財団〈ふるさと財団〉

の地域再生マネージャー事業補助金（補助率：補助対象経費の 2/3））

- (1) 外部専門家（地域再生マネージャー）の活用 851 千円
- (2) 若者の居場所づくり 2,009 千円
- (3) 若者交流イベントの開催 440 千円

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	2024年度 予算額	5,544 千円	新規 継続 拡大
	03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている			
No.18 事業名 ジェンダーギャップ解消推進					

《目指す将来像（姿）》

- 固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」（2021.3策定）に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進するとともに、ジェンダーギャップ解消の必要性を認識し自分ごととして捉え、行動する市民を増やす。

1 事業内容

- (1) 戦略の進行管理・ジェンダー視点の主流化推進
市民主体の戦略会議（委員 10 人）、市職員による庁内推進委員会（委員 12 人）を開催し、戦略の進行管理を行うとともに、専門家の助言を受けながらジェンダー視点のある政策等の実施に向けた取組みを推進する。
- (2) 市民の理解拡大と意識・行動変革の促進
地域コミュニティ組織（モデル地区）、教員、幼稚園教諭・保育士などを対象に地域啓発推進アドバイザーによる研修・ワークショップを実施する。
- (3) 豊岡みらいチャレンジ塾 2024 の開催
政策・方針決定過程への女性や若者の参画機会の拡大を図るため、女性を対象とした人材育成プログラムを実施する。（3年目）
- (4) ジェンダーなど多様性をテーマにしたオリジナル絵本の完成発表会 **新規**
～子どもたちからのジェンダー・多様性教育を考える～
・保育者・教育者向け説明会（子育て中の方などこのテーマに関心のある方を含む）、アドバイザー・絵本作家等トークショー、絵本原画展示
・親子読み聞かせ会
- (5) 市民向け（地域）意識啓発動画の制作 **新規**



豊岡みらいチャレンジ塾 2023

2 事業期間

2019 年度～2030 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,544 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線 2095）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.19 事業名	子育て広場管理事業	2024 年度 予算額	194 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 小さな子どもも安心して遊べる子育て広場に親子が訪れ、まちに賑わいが生まれる。子育て世代を身近に感じることで、市民の子育て世代への応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て世代による子育て広場の利用促進を図るとともに、住民の手により適切に管理することで、まちの子育て応援の機運を高める。

1 事業内容

子どもが安心して遊べ、子育て中の世代とまちの人がいっしょに憩う広場を市内6か所に設置している。

市が管理している豊岡子育て広場(豊岡市役所前)を除く5か所の子育て広場は、地域の「子育て広場芝生化実行委員会」が、除草、施肥等の維持管理を行う。

2 事業期間

2017 年度 ～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

194 千円



担当課名【こども未来課】（内線 2571）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.20 事業名	ファミリーサポートセンター 一事業	2024年度 予算額	1,450 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことで、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）による会員組織である。

市が事務局となり、保育施設等への送迎や、一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1 事業内容

- (1) 会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。
- (2) 会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、SNSを利用した情報発信を行う。

※2017年4月センター設立。同年7月から相互援助活動を開始。

会員数 369人（2023年12月31日現在）

2 事業期間

2017年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,450千円（国補助金 補助率：基準額の1/3）
（県補助金 補助率：基準額の1/3）



担当課名【こども未来課】（内線 2571）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.21 事業名	ワークイノベーション推進	2024年度 予算額	5,724 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。
そのことを可視化することによって、若い女性のUIターンの増加や定着につなげる。

1 事業内容

(1) 市民の理解拡大

まち全体のジェンダーギャップ解消に取り組むために、まずは職場を切り口とした事業所の取組み状況などをわかりやすく市民に伝え、理解拡大につなげる。

(2) 経営者、管理職等の意識改革、行動改革

ア 豊岡市ワークイノベーション推進会議会員事業所を中心に優良事例発表、職場見学、意見交換などの機会を設け、事業所が抱える具体的な課題解決を図る。

イ 女性管理職向けに、モチベーションやスキル向上、職場を越えたネットワーク形成を支援するセミナーを開催する。

ウ 若手従業員向けに、仕事と家事・育児について考える機会を提供する。

(3) 従業員のキャリア形成、ネットワーク形成支援

市内事業所の従業員向けに、キャリアやありたい姿について考え、家事育児への参画の意義、ロジカルシンキング等を学ぶセミナーを開催する。

また、個別の悩みや問題などを多様な知識・経験を有する専門家、地域で活躍するロールモデルなどに相談できる機会を設ける。

(4) 先進事業所の可視化と他の事業所への波及

女性にも働きやすく、働きがいが高い水準に達している事業所の表彰を行う。

2 事業期間

2018年～2027年度

3 事業主体

豊岡市



豊岡市ワークイノベーション推進会議 2023

4 予算額（補助率・負担率等）

5,724千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線 2095）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.22 事業名	子育て中の女性の就労促進	2024 年度 予算額	5,887 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子育てをしながら、自分らしく生き生きと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 働きたい女性を対象にデジタルマーケティング人材等を育成するとともに、出口戦略（就職・起業支援等）にもあわせて取り組み、「デジタルスキル」を身につけて、生き生きと働く女性のロールモデルを示す。
- 子育て支援総合拠点等施設において、子育て中などの働きたい女性の就労支援や活動支援に取り組む。

1 事業内容

- (1) 働きたい女性向けのデジタルマーケティング人材とプログラミング人材の育成及び出口戦略

実績を持つIT人材育成の女性講師陣による5カ月間の講義（オンデマンド方式）と2カ月間の市内企業へのインターンシップ、さらにキャリア相談や起業・就職相談を実施しながら、デジタルマーケティング人材（10人程度）を育成する。

さらに、育成したデジタルマーケティング人材については、ハローワーク豊岡、ワークイノベーション推進会議、IPPO TOYOOKA など関係団体と連携しながら就労先の確保や起業支援に取り組む。

また、女性向けのプログラミング人材（3人程度）の育成についても、市内のIT企業と連携しながらトライアルで新たにに取り組む。

- (2) WACCU TOYOOKA 内のみらい応援 Room での子育て中などの女性の就労・活動支援
アイティ4階のみらい応援 Room において、WACCU TOYOOKA 内の子どもの一時保育機能を活用しながら、関係機関・団体等と連携して、就職相談をはじめ起業相談、お金と未来の相談、キャリア相談等の開設や関連セミナーの開催など、子育て中などの働きたい女性の就労支援や活動支援に総合的に取り組む。

また、女子中高生向けにIT分野に興味を持ってもらうきっかけとして「プログラミング体験キャンプ」をNPO法人Waffleと一緒に実施する。

- 2 事業期間 2021年度～2030年度

- 3 事業主体

豊岡市（協力機関・団体：ハローワーク豊岡、IPPO TOYOOKA、但馬銀行など）

- 4 予算額（補助率・負担率等）

5,887千円

- (1)は内閣府地域女性活躍推進交付金（デジタル人材・起業家育成支援型）補助率：交付対象額の3/4、(2)は内閣府地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線 2095）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.42 事業名	英語遊び保育推進事業	2024 年度 予算額	2,206 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている
- 喜んで人と関わろうとする子が増えている
- 自己肯定感を持てる子が増えている

《事業目的（趣旨）》

- 将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味をもとうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

(1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュの）英語遊び指導を実施する。

ア 実施対象 市内の幼稚園・保育園・認定こども園（4・5歳児クラス）

イ 実施回数 年間15回程度
（2週間に1回程度）

ウ 時間 5歳児・40分、4歳児・30分

エ 指導者 英語遊び指導員 4名

(2) 英語遊び研修会の実施

幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。

(3) 英語遊び通信の発行

保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。



英語で歌ってみる子ども達

- 2 事業期間 2015(平成27)～2016(平成28)年度 6モデル園で先行的に実施
2017(平成29)年度～ 市内の公・私立園に展開実施
- 3 事業主体 豊岡市
- 4 予算額 2,206千円

担当課名【幼児育成課】（内線 2531）

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.43 事業名	出会い機会創出 (はーとピー・民間イベント支援)	2024年度 予算額	2,050千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）で出会ったカップルの成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 直営でのマッチングイベント「はーとピー」を継続するとともに、民間でのマッチングイベント実施を支援することにより、婚活イベントの回数を増やし、より多くの出会いを創出する。

1 事業内容

市主催の婚活イベント「はーとピー」を実施するとともに、交際期間中の相談に応じる。

また、出会いのイベント回数を増やすため、飲食店等が主催するマッチングイベントに対しての支援を行う。

(1) 婚活イベントの開催

ア 直営によるマッチングイベント「はーとピー」 年間12回

イ 飲食店等が主催するイベント 年間5回程度（1回につき5万円を上限に補助）

(2) マリッジアドバイザーが行うアフターフォロー

イベントカップルの交際フォロー、相談業務

(3) 地域プロジェクトマネージャーの任用

地域プロジェクトマネージャーを任用し、縁結び事業への登録者を増やすことやお見合い事業でのデジタルの活用、広域連携、相談体制の強化など持続可能な結婚支援体制の検討と試行的な事業を行う。

2 事業期間

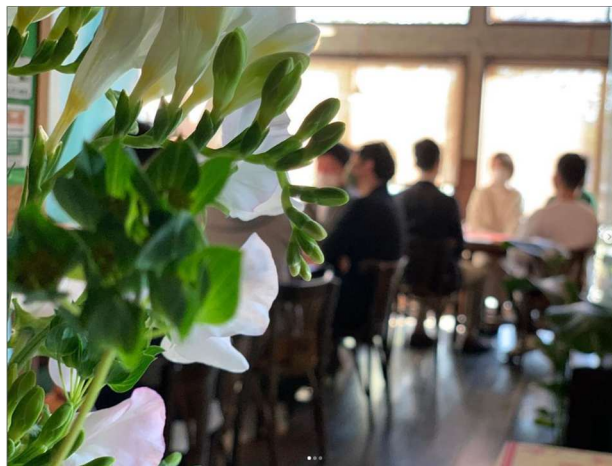
2019年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

2,050千円



担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
No.44 事業名	お見合い推進事業 (縁むすびさん事業)		2024年度 予算額	2,584千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- お見合い事業に登録する方が増え、成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数の増加を目指す。

1 事業内容

- (1) 「縁むすびさん」の仲介による登録者同士のお見合い実施
縁むすびボランティア及び事務局にて1対1及び複数でのお見合いをセッティングする。
- (2) 「縁むすびさん」のモチベーション向上支援
ア 縁むすびボランティアが成婚に導いた際に報酬金を支給する。
イ 専門家を招聘し、縁むすびボランティアを対象としたセミナーを実施する。
- (3) お見合い事業の登録者を対象に月1回程度、カメラマンによるプロフィール写真の撮影をする。併せて美容師による髪型アドバイスやセット、コミュニケーションスキルのある方にアドバイスをもらう等、登録者の自信に繋げ、お見合いから交際へのステップを支援する。

- 2 事業期間
2017年度～
- 3 事業主体
豊岡市
- 4 予算額
2,584千円



担当課名【地域づくり課】（内線 2781）